

## お祝いの言葉（小学校・卒業式）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書を受け取った皆さんの心には、六年間の思い出があふれていることでしょう。友達との話合い、委員会活動やクラブ活動など、皆さんは多くの人と関わり、自ら学ぶ力や、相手を思いやる心、スポーツに親しむ意欲と体力を身に付けてきました。

小学校生活の最後の二年間、皆さんは新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊行事や校外学習などが中止になるなど、様々な制約がある学校生活でしたが、明るく、前向きに学んできました。特にこの一年間は高学年として、下級生の模範となって素敵な学校をつくってくれました。どうぞ自信と誇りをもち、胸を張って卒業してください。

皆さんの学校生活一日一日を支えてくださったのは、先生方をはじめ、職員や地域の方々、そして今日、この卒業の日を、誰よりも喜んでくださっている保護者の方々です。皆さんの成長を見守り、励まし続けてくださった皆さんへの「ありがとうございます」という感謝の気持ちを忘れずにこれからの毎日をよりよい日々にしていくってください。

さて、二〇二一年の夏は、誰もが未だかつて経験したことのない状況の中でオリンピック・パラリンピックが東京で開催されました。皆さんもテレビ等を通して、多くの感動をもらったことと思います。その中で、十三年ぶりに復活したオリンピック競技で日本が二連覇したことを知っていますか。それは女子ソフトボールです。

決勝戦の相手は、十三年前と同じ世界ランキング一位のアメリカ合衆国で、日本代表の先発投手は十三年前と同じ日本のエース上野由岐子選手です。

日本のリードで迎えた6回裏、先頭打者にヒットを打たれた上野投手は交代となりました。ソフトボールのルールでは、投手は交代しても一度だけ再出場することができると、上野選手はベンチの中で「今日投げられる最高のボール」を必死に考え続けていたということです。

再び登板した上野投手は、打者を完璧に抑え、十三年ぶり二度目の金メダルを獲得しました。悲願の金メダルの裏には、十三年間の努力はもちろん、あくなき探究心と向上心がありました。

4月から、中学生になる皆さん。どのような状況にあっても、上野選手のように、自分を信じ、諦めることのない探究心と向上心を持ち続け前に進んでいってください。挑戦してください。そして、友達や周りの人を大切にすることを常に心掛け、私たちのまち立川に愛着と誇りを持って、社会で生き抜く力を培っていくことを期待しています。

保護者の皆様、本日、お子様が御卒業を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。この6年間、お子様を温かく見守り、支えていただいたこと、そして、学校とともに歩んでいただきましたことに感謝申し上げます。今後も引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして本校のために、様々な方面から御支援、御協力いただきました地域の皆様方に感謝を申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和四年三月二十五日

立川市教育委員会

## お祝いの言葉（中学校・卒業式）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育における全課程を修了されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に修了し、卒業証書を手にしたお子様を御覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。誠に改めてとうございます。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症の予防を常に心がけ、日常生活の様々な場面に応じた工夫を行いながら、本校における新しい日常を築き上げてきました。授業や行事、校外学習や部活動など、学校生活のほとんどを新しいスタイルに移行させながら、最高学年として、学校の中心として、先生方とともに学校を引っ張ってきてくれました。どのような状況であっても、たとえ困難な状況があったとしても、前向きに学び、仲間や人と人とのつながりの大切さを心から実感しながら過ごしたこの一年間に、どうぞ自信と誇りをもち、胸を張って卒業してください。

さて、皆さんはノーベル賞と聞いて、何を思い浮かべますか。ノーベル賞には、物理学、化学、生理学・医学、文学、平和および経済の各分野6つの賞があり、「人類に最大の貢献をもたらした人々に贈られます。日本人受賞者は何人くらいいるでしょうか。実は、20人以上います。

2021年は、現在、アメリカ合衆国にあるプリンストン大学の上級研究員をされている真鍋 淑郎（まなべ しゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されました。受賞の理由は、地球の気候と地球温暖化の予測に関する物理モデルへの貢献です。

真鍋氏の研究は、大気中の二酸化炭素濃度が気候に与える影響を初めて科学的に示し、世界各国が気候変動対策に取り組みきっかけになるとともに、気象庁の予報や異常気象を引き起こすとされる「エルニーニョ現象」の予測にも活用されています。真鍋氏がつくったモデルは、現在の温暖化予測の全ての礎となっているわけです。真鍋氏は、日本の若者に「以前は自分も地球温暖化の問題がこんなに大きくなるとは夢にも思っていなかった。気候問題に好奇心をもち、60年夢中になってやってきた。自分が好奇心をもつような研究をやるのが大切だ。」と、エールを贈っています。

義務教育を終え、母校から巣立とうとする皆さんの心の中には、希望と不安、理想と現実に関する様々な思いがあると思います。皆さんが身に付けてきた、誰にでも心を開いていくオープンマインドの精神、チャレンジ精神、仲間との絆は、夢へと進む財産となって皆さんを支えてくれるはずです。

本校で学んだ日々、この地域で学んだ日々に誇りをもち、保護者の方々をはじめとする支えてくださる方々への感謝を忘れずに、将来を切り拓いていってください。皆さんがよりよい社会づくりに向けて活躍すること、地域の担い手となることを期待しています。

最後になりましたが、これまで熱心に御指導いただきました校長先生はじめ教職員の皆様、本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、改めて卒業生の皆さんの前途を祝してお祝いの言葉いたします。

令和四年三月十八日

立川市教育委員会

## お祝いの言葉（小学校・入学式）

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今日から小学生です。皆さんが幼稚園や保育園の一番大きなお兄さん、お姉さんとしてやってきたことは、小学校でも大切なことばかりです。例えば、友達や先生にきちんと挨拶をしていたと思います。友達に優しくしていたと思います。大切なことはこれからも続けていってください。

ところで、小学生として生活する最初の頃は、初めてだから分からないこと、困ってしまうこと、びっくりしてしまうことがあると思います。その時は、先生方やお兄さん、お姉さんたちに困っていることなどを伝えてください。お兄さん、お姉さんたちも、少し前まで皆さんと同じ一年生でした。だから、今、一年生の皆さんのことをよく分かっています。きっと優しく助けてくれます。

他にも、学校や学校の周りの地域には、皆さんの楽しい学校生活のために協力してくださる方がいます。登校や下校の安全を見守ってくださる方、学校の勉強をお手伝いしてくださる方などです。みんな一年生のことを応援しているので、安心してください。地域の方、学校を応援してくださる方に会ったときは、「ありがとうございます」の気持ちを含めた、元氣な挨拶ができる小学生になってください。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

子どもたちは次代を担うかけがえのない存在であり、我がまちの未来を築く市民です。保護者・地域の皆様、学校、その他多くの関係者が連携し、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育むことが求められています。子どもたちが、その力を存分に発揮できるように、お力添えいただきますようお願いいたします。最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、子どもたち一人一人の学校生活の充実に向けて、温かくご指導くださいますことをお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和四年四月 日



## お祝いの言葉（中学校・入学式）

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

今日から始まる中学生としての三年間は、豊かな人間性が育つ大切な時期です。自分で目標を定めて学習や運動に取り組み、学ぶことの楽しさや厳しさを体験しながら、確かな力を身に付けていってください。

さて、皆さんは、これまで、仲間と共に学ぶ大切さを学んできたと思います。そして、たとえ困難なことがあっても、思うようにいかないことを受け止めたり、物事を前向きに捉え直したりして一歩一歩進んできたことと思います。それらの経験が、今の皆さんを支えています。

これからの皆さんの中学校生活には、素敵な経験が待っています。教科の学習、委員会の活動や部活動などをきっかけに、生涯をかけて追究できることに出会えるかもしれません。自分たちでつくりあげる行事、立川市民科の学習活動を通して身に付けた学び方や人との関わり方などが、いずれ地域や世の中の課題解決に生かせるようになるかもしれません。この三年間は、皆さんの可能性を広げる日々になります。だからこそチャレンジを大切にしてください。思い描いた将来に進む可能性や、思ってもいなかった未来をつかむ可能性が、この三年間にはつまっています。

皆さんは、小学校で培った力を発揮すれば、初めてのことや難しいことに挑戦するときには、周りにいる友達と知恵を出し合うことができます。不安や心配なことがあるときには、周りの大人を頼ることもできます。辛いことがあったとしても、笑顔で振り返ることができる時を目指して、時間がかかったとしても、一緒に前に進んでいきましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、子どもたちにとりまして、ものの見方や考え方の広がる時期であり、心の発達が著しく、これまで以上に迷いや悩みを経験する時期でもあります。

ご家庭におかれましては、お子様の願いや思いに寄り添い、よりよい生活習慣が築かれるように努めていただくとともに、学校と連携し、子どもたちの健やかな成長にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、地域の皆様に対しまして、子どもたちに深い愛情を寄せられ、よりよい校風を築いていかれますよう、お願い申し上げます、お祝いの言葉いたします。

令和四年四月七日